

夢を追う卒業生 その9 平成30年9月26日

フィリピンボランティア体験記 その3

◇今回は、山田将輝さん（愛知県立大学外国語学部英米学科）のレポート第三弾です！

第六日目

この日は現地学生との最終日でした。この日は活動はせず、マニラの市内観光をして、(彼らが言うには)アジア最大のショッピングモールでショッピングをしました。その後帰ってから、最後のディナーとお別れ会をしました。

市内観光では、マニラで一番大きな公園であり、フィリピンの独立に貢献した、英雄ホセ・リサールが眠っている、リサール・パークというところに行き、フィリピンの歴史についても知ることができました。この公園のモニュメントの下に実際にリサールが埋葬されており、それをいつも警備員が見守っているという伝統的な地を訪れることができました。

次に、名前は忘れてしまったのですが、要塞の様な場所に行き、昔使われていた劇場跡や、牢獄跡を巡りました。歴史的な建物を見ることができたのと、日本との戦争の歴史も関わっていて、外国のことを知ることで、日本について知ることができるということ学びました。

そのあと教会へいきました。フィリピンはアジア有数のキリスト教国家です。教会にも力を入れているようで、アジアなのかわからなくなるような、素晴らしい教会でした。どのように、フィリピンにキリスト教が入ってきたのかなどを教えてもらい、様々な像や絵画などを見ることができました。

最後にアメリカ兵のお墓の様などころにいきました。一見とても綺麗な場所ですが、そこには歴史的な意味が込められていて、とても厳かな気持ちになりました。壁に兵士の名前が刻まれており、戦争があったのだということを忘れさせないような場所でした。

ショッピングモールではいくつかのショップを英語で場所を聞きながら探すレースをし、かなり疲れました。モールは大きすぎて、すべて回ることができず、残念でしたが、英語で道を尋ねる良い経験になりました。



この日が、五日間過ごしたバディ（フィリピン側の仲間）と最後の日ということで、かなり寂しかったです。しかし、彼らの性格なのか、しんみりした空気にはならず、大いに盛り上がり、僕らも楽しむことができました。バセコでも披露した恋ダンスに加え、いきものがかりのありがとうをみんなで合唱しました。そしてバ



ディのみんなも英語で歌を歌ってくれました。そしてメッセージの交換や、プレゼント交換もしました。さすがに最後はしんみりしてしまい、ツアーが終わろうとしていることを感じました。

六日目、バディたちと一日過ごしたことで、英語の難しさ、必要性をさらに感じました。歴史の事など聞くのにも様々な言葉を知っていなければならないので、とても苦労しました。それと同時に英語がそんなに話せなくてもこんなにも仲良くなれるんだなということを感じ、英語はツールという考え方にも納得しました。バディへのメッセージを無茶ぶりで振られて考える暇がなかったのですが、なんとかできたので、英語力も少し上がったのを実感しました。あと個人的には、自分が企画してきた恋ダンスが成功したことが一番嬉しかったです。

This day was the last day for us and the Filipino students. We went sightseeing in Manila and to a shopping mall, the biggest in Asia, instead of working. And finally we had our last dinner with them and a farewell party.

For sightseeing, first, we went to the Rizal-park, which is the biggest park in the Philippines. It commemorates the hero of the Philippines, Rizal, who contributed to the independence of the Philippines. His body is buried under the monument and guards always monitor it.

Next, we went to a place that was like a fortress and we saw the site of old theaters and old prisons. It relates to the war and Japan a little. I learned that we can study Japan from studying other countries.

After that we went to a beautiful and big church. The Philippines is one of the biggest Christian countries in Asia. So there are many churches there. They remind us of European culture. Our buddies taught us how Catholicism came to the Philippines and showed us Christian pictures and statues. It was wonderful.

We also went to cemetery for American soldiers and victims of the Pacific War.

At a glance, it is a beautiful place. However, it has historical meaning. Names of soldiers are written on the walls. It made us remember the war again.

The shopping mall was incredibly large. We were challenged to find certain shops. It made us very tired and we could not go shopping enough because of it. However, it was a really good experience for us to ask the way to the shops in English.

This was the last day with them, so we were already sentimental. But they were not. They enjoyed the party and made it fun. Our gifts to them were the love dance and singing a song called "Arigatou" together. *Arigatou* means "thank you" in Japanese. They also sang a song that included "thank you." And we exchanged messages and presents. At that moment I became really sad and was missing them already.

I noticed the importance and difficulty of English during the tour with them. When I listened to their explanations of history, understanding the historical words was needed. Simultaneously, I learned that we can be friendly without speaking English well. So I could also understand the way of thinking that English is the tool of communication.

Actually, I did not prepare a speech for my buddies. However I was able to do it and I felt that my English had improved. And personally my best moment was the time when the dance that I prepared

was successful.

第七日目

この日はすべての活動の締めとして、川でボートにのって滝を見に行きました。今日の内容はほぼ観光なので、ただの日記になってしまうかもしれませんが、ご容赦ください。

まず朝 6 時にご飯ということで、朝御飯自由にして集まってみたら 4 人しかおらず、いつもより静かな朝からスタートしました。目的の川にたどり着くまで休憩をはさんで 3 時間半弱かかり、みんな前日までの活動の疲れからか寝ていました。



上りから、まずボートが狭くて大変でした。3 人乗りだったのですが、僕らのボートには比較的身長の高めな 3 人が集まってしまい、かなり狭かったです。ですが、一緒に乗った 2 人は同い年ということもあり、色々な話を気楽にできて、とても楽しめました。ありがとう！バランスを取るのも難しく、水が入ってくることもあり、転覆するのではないかと思うような、スリル満点のボートライドでした。

ボートでもさらに 40 分程進んだところに、最終地点の滝がありました。かなり大きな滝でしたが、いかだでその下を、潜るという体験をさせていただくことができました。かなり濡れてしまいましたが、なかなかできない体験で面白かったです。

下りでは、少し急なところもあったのですが、アトラクションのような感覚で楽しむことができました。この時感じたこととしては、ボートマンもそうなのですが、川辺で遊んでいる子どもたちも体格が良いなということでした。いまの日本の子どもたちは、屋外で遊ぶことも減り、体格の良い子は、少ない印象です。特に日本の子は小さい頃からスマホやゲームを持っていてその傾向が強まっていると思います。それに比べフィリピンではそういう現代の利器に触れる時間が少ないこともあり、屋外で遊ぶ時間が長い、または屋外の仕事を手伝っているため、体格が良いのだとわかりました。幼い頃から自然とふれあうということは、強く健康な体に必要なのだということに改めて気づかされました。

帰ったあとミーティングがあり、そこでフィリピンボランティアツアーの全体の振り返りをしました。その内容は長くなりそうなので、明日の 8 日目の振り返りと併せて書くことにします。

At first I apologize that today's article may be a personal diary because it was only sightseeing, which was the activity of day 7.

On this day, as it was the closing of this tour, we went to a river, rode a boat and saw a waterfall.

The destination was far from our hotel. It took us three and half hours to get there, so we had to eat breakfast at 6am. We could choose whether we wanted to eat breakfast or not. I went to eat breakfast in the lobby. However there were only four people including me. It was the most silent morning of the seven days.

Everyone slept on a bus because of fatigue from working.

First our boat went up the river. The boat was really narrow because it was for three people. On



top of that, all of us on my boat are comparatively taller than others. So it was very narrow for us. However the other two that I rode together with was the same age as me, so I could talk casually with them and had fun!! Thank you so much. It was really difficult for us to balance the boat. But the thrill made us enjoy the riding.

After about 40 minutes of riding, we arrived to the final destination: the waterfall. We came through under it, although it was a little big. I simply enjoyed this activity and it was one of the rarest experiences for me.

When our boat went down, it was like an amusement ride. I could see some people who lives near the riverside. When I saw them, I thought that the children looked stronger than Japanese children. Boatmen also have strong bodies. Nowadays, Japanese children rarely go out and play in nature because of smartphones or games, while in the Philippines, many children don't have them. So they play in nature and also help their parents with outdoor work. That is why their bodies become strong.

On this day we also had a meeting. It was the conclusion of this tour. It's pretty long, so I am going to write about it tomorrow with the article of day 8.

第八日目

8日目はほぼ帰りのフライトのみだったので、7日目のミーティングの内容と、全体のまとめを書こうと思います。7日目のミーティングではこのボランティアの活動を終えて、感じたことや気づいたことを全員で共有したのと、個人で立てた目標の達成度の個人での確認、その目標を経て、帰ってからの日常での目標の計画、また各メンバーへの寄せ書きをしました。

個人的にこのボランティアで感じたことは、主にバセコでの活動で感じたこと、大学生との交流で感じたこと、そして仲間との活動の上で感じたことの3つに分類しました。

はじめに、バセコで感じたこととして、改めて日本という国に生まれ、自分がどれ程生きやすい環境にいるか、ということに気づきました。これはメンバー全員が実感しており、日本だと当たり前になっていたことが当たり前ではないと思い知らされました。たとえば、学校に行ける、と言うことも当たり前ではないということです。フィリピンの子どもたちの中には、学校にいきたくても行けない子が多くいます。また、マーケットに行く間に見たスラム街の様子も日本にはないものでした。自分達が住んでいる家や、食べている食べ物も大切にしなければならないと思いました。

そしてもうひとつ思ったことは、バセコの人たちの暖かさです。実際に行くまでは、スラム街の人と聞いて、もしかしたら親切な人はいないのではないかと感じていました。しかし、行ってみるとそんなことはなく、日本と変わらず優しい人が多いし、むしろ日本人と接するよりも暖かさを感じた時もあったのが正直なところでした。このように、私たちは守られた環境下ではあったのですが、先入観だけで決めつけたり、行かなかったりすることは良くないなと感じました。

次に学生との交流で気づいたことで一番大きいのは英語の大切さでした。以前も書いたように、英語が十分に話せなくても、コミュニケーションは取れるし、仲良くなれるのは確かにあります。そして英語が母語の国

でない場所でもコミュニケーションが取れるのでやはり大切だと感じました。さらに、彼らと会話する上で、自分の英語のせいで、ジョークや難しいないようが理解できなくて、場の空気を壊してしまいそうになることが少しありました。もっと英語ができれば、彼らともっと仲良くなれたと思い、悔しくなりました。

加えて文化の違いのおもしろさです。彼らは日本人とは違った価値観を持っています。特に心打たれたのは、彼らは生きることを当たり前とっておらず、毎日を全力で生き、楽しむことを心がけている人が多いです。それも大切なことで日本人がこれができるのもっと人生を豊かにできるのになと思いました。

そして、最後に仲間との活動の上で気づいたことは、仲間の大切さ、全員で同じことに取り組むことの楽しさです。大学生になってからの僕は、みんなで協力して同じことに取り組む、ということをやめてきました。それがもったいなかったと、心から思いました。メンバーとやることで、一人でやるよりももっと効率的に、楽しくできるということを改めて学びました。僕が最初のミーティングでこのツアーの目標を共有しようと提案したときも、全員が真剣に目標を考え、真剣に他のメンバーの目標を聞いて、応援してくれました。これがなければ、僕はこのボランティアの目標だった何事にも全力で取り組むということに挑戦することすらできなかったです。そこで感謝の気持ちも生まれ、メンバー全員の事が大好きになりました。そして、このボランティアを支えてくださった、このボランティアの添乗員で、僕の先輩でもあるともやさんのかっこよさを、改めて知りました。こんな素敵な社会人になれたらいいと心から思える人とこのツアーに参加できたおかげで、この成長があると感じました。

まとめると、このツアーは人生で一番最高の経験であり、最高の一週間でした。このツアーに参加する前に背中を押してくださった、JSTの浅菜さんをはじめ、JSTのみなさん、そしてお金を出してくれた親、フィリピンで出会えた全ての人、そしてメンバーともやさんに最大の感謝とリスペクトを！本当にありがとうございました。

これで、振り返りは終わりですが、明日はこのボランティアツアーでしたミーティングの中でも特に重要であった議題、自分達は何のためにボランティアに行くのか、という議題について投稿したいと思います。最後まで読んでいただきありがとうございました。

On day 8, we're only flying back to Japan, so today's article is about meeting of day 7 and the entire conclusion of this volunteer tour.

At the meeting, we shared things that we felt, thought and learned during this tour, our own goal of this tour, planned the new aim of daily life after this tour and finally we wrote letters to each other.

Personally, I classified the things into Baseco, at the university and during activity with members.

At first, I realized that we are in the environment that we can live in easily only because we live in Japan. All of members said that and it reminded us that tomorrow and our daily lives are not obvious. For example, some children in Baseco cannot go to school but we can. And also there are no areas like Baseco in Japan. I think we should value our house and food that we eat.

We also can received warmth from the people. Before visiting Baseco, we had some stereotypes. We thought perhaps Baseco people are not kind because they are from the slum area. But it was absolutely wrong. They are of course kind and friendly to us. It was better than that from the Japanese sometimes. Then I learned that stereotypes made us wrong, although at the same time we were protected.

Second, I learned the importance of English from conversations with Filipino students. As I wrote before, we can be friends with foreigners without English and use it in many non-English speaking countries.

However, I spoiled the atmosphere because of my poor English. If I had spoken and listened to English, I could have been friendlier to them. So I regret it.

In addition, the differences of cultures were really interesting. Mainly, they have different values from that of the Japanese. They think living their lives positively is natural and they try their best to live positively. It is important for the Japanese, and if every Japanese can follow this, we can enrich our lives.

Finally, I noticed the importance of combination and cooperation with members and the excitement of doing something with them. Since I entered university, I seldom do anything in a group. I really regret it.

Through this experience, I learned that we can achieve something effectively and fun with a team. When I proposed my idea that we should share our goals of this tour, they planned, listened to and cheered me on. Had they not done this, I wouldn't have even taken on my goal for this tour. I appreciate them and I came to love them. And of course I want to say thank you to Mr. Sakata, he is the tour conductor of this tour and also a senior student of my university. He always supported us. He led us and let us grow up. And I want to be a nice guy like him.

In conclusion, this tour was my best experience and my best week. I want to say thank you to Mr. Asana, who introduced me this tour, also other JST staffs, my parents, all people who I met and all members and Mr. Sakata again!!! Thank you so much!!!

This is the end of the series articles. But I am going to write about the meeting which is about one of the most important theme, why did we participate in this tour. Thank you very much for reading.

